慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記 ; 奥付
Sub Title	
Author	秋吉, 亮太(Akiyoshi, Ryota)
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2011
Jtitle	Newsletter Vol.17, (2011. 10) ,p.8- 8
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002003-00000017-0090

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

事務局だより

ご　報　告

9月12日（月）、13日（火）、14日（水）、慶應義塾大学三田キャンパスにて国際シンポジウム“Toward an Integration of Logic and Sensibility — from Neuroscience to Philosophy—”を開催いたしました。

2007年に文部科学省グローバルCOE プログラムに採択された「論理と感性の先端的教育研究拠点」は今年度をもって終了となります。このたびの国際シンポジウムは過去5年間の集大成として各分野の研究者たちが集まり、各プロジェクトの研究成果、国内外の連携拠点との共同研究の成果、また教育実績の発表の場として、大成功に終わりました。関係者一同、心より感謝申し上げます。「論理と感性」は知覚から美学、道徳、経済、政治など広い範囲での人間の判断や意思決定に重要な役割を果たしています。本シンポジウムでは私たちの判断における論理と感性の役割をその生物学的起源から哲学的意味に至るまで、さまざまな論議が繰り広げられました。

2011 年度特任教員・研究員一覧

●特任教員　（順不同）

名　前	職　位（拠点内の所属班）
伊澤　栄一	特任准教授（脳と進化班）
四本　裕子	特任准教授（脳と進化班）
山﨑　由美子	特任准教授（脳と進化班）
尾島　司郎	特任准教授（言語と認知班）
皆川　泰代	特任准教授（遺伝と発達班）
秋吉　亮太	特任助教（哲学・文化人類学班）
染谷　芳明	特任助教（脳と進化班）
田谷　文彦	特任助教（脳と進化班）
増田　早哉子	特任助教（脳と進化班）

●常勤研究員

名　前	職　位（拠点内の所属班）
Mohácsi, Gergely	研究員（哲学・文化人類学班）

●非常勤研究員

名　前	職　位（拠点内の所属班）
太田　真理子	研究員（遺伝と発達班）
串田　裕彦	研究員（論理・情報班）
桒原　明栄子	研究員（脳と進化班）
近藤　紀子	研究員（脳と進化班）
柴田　みどり	研究員（脳と進化班）
鈴木　康則	研究員（哲学・文化人類学班）
寺澤　悠理	研究員（脳と進化班）
照山　絢子	研究員（哲学・文化人類学班）
日根　恭子	研究員（言語と認知班）
三宅　博子	研究員（哲学・文化人類学班）
村井　忠康	研究員（論理・情報班）
桃生　朋子	研究員（言語と認知班）
※1 矢口　朱美	研究員（論理・情報班）
山根　千明	研究員（哲学・文化人類学班）
※2 島薗　洋介	研究員（哲学・文化人類学班）

※1 平成 23 年 6 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日まで在籍
※2 平成 23 年 6 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日まで在籍

活動予定

■ Dr. Jens Timmermann 講演会

開催日：2011年11月10日(木)
会　場：三田キャンパス東館6階G-SECLab
企　画：論理・情報班　村井忠康

■ 一般公開シンポジウム
『こころ』を知る、『こころ』を活かす（仮題）
第 5 回 京都大学ー慶應義塾大学 グローバル COE 共催シンポジウム

開催日：2012年1月7日(土)
会　場：三田キャンパス
企　画：子安増生　渡辺 茂

■ 医療人類学の最前線 VI

開催日：2012年1月28日(土)
会　場：三田キャンパス東館6階G-SECLab
企　画：哲学・文化人類学班　北中淳子
講演者・参加者：
Jonathan Metzl(ミシガン大学)、黒木俊秀(九州大学)、田中康雄(北海道大学)、堀口佐知子(テンプル大学)、宮坂敬造、北中淳子、照山絢子（慶應義塾大学・哲学文化人類学班）

編集後記　慶應義塾大学人文グローバル COE プログラム NEWSLETTER17 号をお届けします。今回は、当拠点の一大イベントである“Toward an Integration of Logic and Sensibility —from Neuroscience to Philosophy—”を大きくとりあげてご紹介いたします。タイトルの通り、学際的で国際的な当拠点を象徴するようなシンポジウムであり、最終年度にもふさわしいものであったように思います。大変お忙しい中、シンポジウム、講演会の報告を書いてくださった皆様方、そして編集をお手伝いしてくださった全ての方々に感謝申し上げます。（秋吉亮太）

慶應義塾大学　論理と感性の先端的教育研究拠点
Centre for Advanced Research on Logic and Sensibility
Newsletter 2011. October. No. 17

発行日　2011 年 10 月 31 日
代表者　渡辺 茂
〒 108-8345　東京都港区三田 2-15-45
慶應義塾三田研究支援センター気付
TEL：03-5427-1156
FAX：03-5418-6728
keiocarls@info.keio.ac.jp
http://www.carls.keio.ac.jp/